

平成29年度第2回成田市社会教育委員会会議概要

- 1 開催日時 平成30年1月26日(金) 午前9時30分から午前10時40分まで
- 2 開催場所 成田市中央公民館2階第3・4研修室
- 3 出席者 (委員) 橘内忠成委員, 藤山勝委員, 平川千秋委員, 日暮健委員, 村島義則委員, 湯浅美智子委員, 金子亨委員, 多田初枝委員
(事務局) 田中生涯学習課長, 川崎副参事, 若山社会教育係長, 田島主任主事

4 議題

【報告】

- (1) 千葉県社会教育振興大会について

【議事】

- (1) 高等学校等開放講座について
- (2) その他

5 会議の内容

【報告】

- (1) 千葉県社会教育振興大会について, 事務局が報告した。

【議事】

- (1) 高等学校等開放講座について, 事務局が今年度の実績を説明し, 委員に意見を求めた。
- (2) その他として, 千葉県社会教育振興大会の出席者に意見を求めた。

《発言要旨》

【議事】

- (1) 高等学校等開放講座について

委員: 参加者の費用はどの程度か。

事務局: 保険料と実費を合わせて, 500円~1,000円程度である。

委員: 改善点で資材をそろえるのが負担になったとあるが, 何か。

事務局: 成田西陵高校は, 料理や竹細工の作成などの講座を実施しており, その用意が負担だと把握している。

委員: 行政が主催する事業なので, 参加者はその成果を地域へ還元することも必要だと思うが, いかがか。

事務局: 本事業は, 高等学校等が持つ施設と機能の開放し, 学習の場を提供することが大きな目的であり, 参加者が学んだことを地域社会に還元するところまでは現状求めている。ただし, 本事業の開設当初はこの目的でよかったと思

うが、現在は様々な民間のカルチャースクールもあるため、どこまで行政が負担をして実施していくかについては、検討する必要があると考えている。

委員：公民館サークルなどでは、人集めに大変な団体もある。

委員：若い人がなかなか参加しない。社会教育としては、学んだことを地域に還元することが求められる。

委員：高等学校等開放講座の開催時期はいつか。

事務局：夏以降2月頃まで実施している。

委員：時期については、アンケートにもあるとおりの現状通りでよいか。

事務局：よいと考えている。

(2) 千葉県社会教育振興大会の出席者からの意見

委員：基調講演では、社会教育の課題を解決しなければという思いを感じた。また社会教育の原点を思い出した。

事例発表に放課後子供教室があったが、分科会でも子どもと社会教育について話し合った。今は子どもの状況が非常に厳しい。例えば、親は忙しく、子どもはITに振り回されている。ひどいケースでは、スマホに子守りをさせていることもある。電車の中でもほとんどの人がスマホを見ている。人に無関心になってきている。子どもは人に触れ合う時間が少なくなっている。このような環境で、放課後子供教室は意義がある事業だと思う。

地域社会で子どもを何とかしていけないといけない。

群馬県千代田町では、様々な体験をするとスタンプがもらえるチャレンジ手帳がある。最後には社会教育委員が見る。地域社会で子どもを見守る良い事例だと思う。ユネスコ協会でもESDパスポートを発行して、ボランティアを促している。公津の杜小の児童はもりんぴあでの参加が大変多く、社会体験の大切さ必要性を実感している。

一方、中学生が活躍できる場や機会が少ない。

委員：分科会では、青少年相談員や青少年健全育成協議会委員、PTA役員から社会教育委員になった方が多かった。

地域によって、旧住人と新住人の考え方やものの捉え方の違いが問題となることがある。目的等を話せば理解し合えることも多いが、そもそも会合にも参加してもらえないことがある。新住人とともに地域再生を目指すには、話し合いを持つことが大切だと考えている。

委員：基調講演では、社会教育委員は住民と教育行政のパイプ役だと改めて感じた。退職すると、付き合いが少なくなり、人の声を生で聞くことが減る。いろいろな人と話すことは重要だと考えているし、社会教育団体同士の交流も必要だと思う。

事務局：市原市の社会教育委員が家庭教育支援の提言をしたり、また君津市では2年に1度は教育委員会に提言しようという意思があったりするのである。

当然、それには市も諮問という形で社会教育委員に課題を投げかけることがあるということである。

社会教育委員の役割には、「諸計画の立案」「教育委員会への意見」「研究調査」などがあり、その意義として、出された意見や答申は、「施策立案のための基

礎的な理由付け」になり、予算要求などの根拠の一つとなる。また、「現場感覚に即した多様な意見」であり、「各団体・機関との連携」にも欠かせない存在と考えている。

現在は市の会議資料自体が承認を得るための形となっているため、今後教育委員会においても、委員の力を最大限いただけるような形を研究していきたいと考える機会となった。

委員：成田市の生涯大学院では、多くの人が学んでおり、またクラブ活動もされている。高齢者の役割が大切になってくる。ぜひ、自分だけでなく、人のためになるという視点を持ってほしい。実際、人のための活動、地域貢献活動もしているのと聞いている。こういった視点が、これからの社会教育に大切だと思う。高齢者はもっと子どもを大切にしてほしい。

5 その他

委員：新春書道華道展の来場者がいつもより少なかった。三角のインフォメーションのみで、目立たなかったのではないか。ケーブルテレビでも催し情報として流れていなかったのではないか。

委員：スカイタウンで開催される事業について、3階から5階で行われていることを知らない人も多い。

開催している行事やイベントが見えないと足を運んでもらえない。

駐車場について、千葉交通との交渉が必要だとは理解しているが、イベント協力者の駐車料金の配慮が欲しい。華道などでは展示に時間がかかる。

事務局：スカイタウンの出入口の看板等の設置については、組合の話し合いを通し、制限がより厳しくなった。イベントの周知方法の検討及び駐車場の配慮については、要望として担当課に伝える。

6 傍聴

なし